

114  
A1928

正



銀行税及ヒ訴訟印紙税更正ノ儀再上申

明治十一年度ノ歳入出豫算調整ニ臨ミ其概計  
ヲ立為スルニ入出殆ント償々難ク大ニ修整ニ困  
セリ依之一層調理ノ叙次ヲ進メ嚮ニ稟候セシ  
銀行税ノ新設及ヒ訴訟用紙代ヲ印紙税ニ更正  
スルノ拘算ニ基キ銀行税貳拾萬圓訴訟用紙代  
更正ニ因リ増加ノ見込高六萬圓餘ヲ假ニ編算  
シ以テ入出ヲ比准スルモ尚ホ未タ相償フヲ得  
ス退テ其淵源ヲ探究スルニ他ナシ客歳西南ノ  
事変ニ係リ其影響ノ本年度ニ覃及スル最著  
ノ者ヲ舉ンニ警察費ノ如キ或ハ府縣ノ經費  
ノ増加ノ多人数ニ因リ熱役武官ノ恩典又ハ軍

大正十一年四月  
侯爵郵寄贈





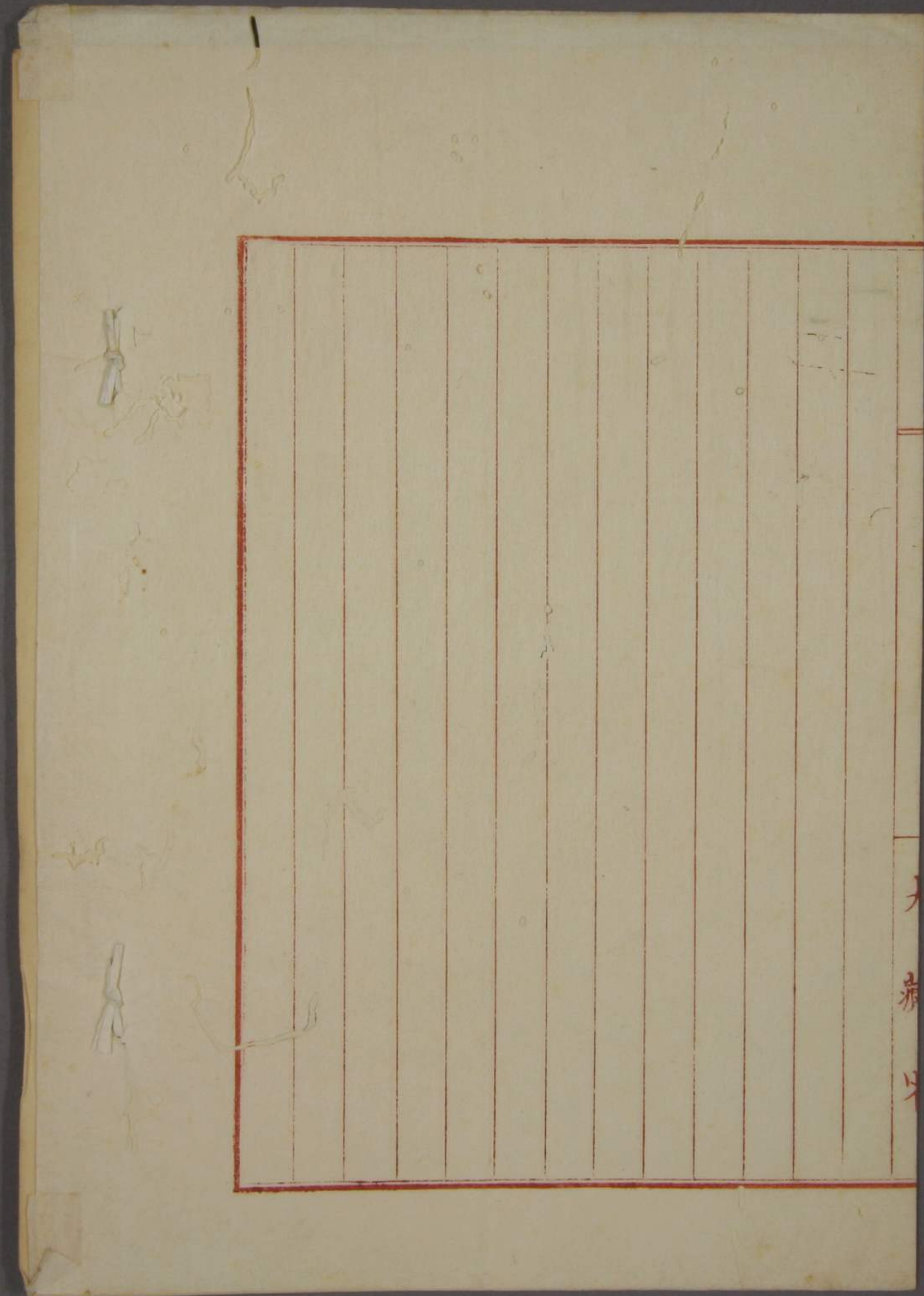
署ノ購收其他北陸東海兩道 御巡幸費等ヲ始メ実  
ニ止ムヲ得サルノ費途比々ニシテ加之各廳ノ  
經費ニ於ケル或ハ事ノ止ムヲ得サルニ出テ或  
ハ事務ノ擴充ニ係リ増費ヲ要求スル處僅少  
ニアラヌ之レ素ヨリ一概ニ謂レテキモノト斷言  
シ難シト虽モ嚮ニ制限ヲ定メラル、ノ規法ヲ漸  
ク弛緩ニ流ル、ノ狀勢ヲ来シ實ニ焦慮ニ堪ヘ  
ヌ右ハ尚ホ詳悉上申可致心得ニ候得共差向前  
述ノ兩稅ハ兼テ具申ノ通舉行スヘキモノト  
シ豫算ハ編入シ豫算表ヲ製シ速ニ上申可致  
候間前頭兩稅新設及ヒ更正ノ件トモ本期豫  
算表頒布以前ニ於テ御裁定相成度此旨豫シ  
ノ稟申仕候也

明治十一年七月廿一日

大藏卿大隈重信

太政大臣三條實美殿





大  
清  
史